

## 目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
栃木県	栃木市	富山	平成30年度	令和2年度	栃木市

## I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	省略	付加価値額の拡大	収入の柱としているコメの売り上げ高の下落が続いているため。	消費市場の回復後も安定した収益を維持ができるように、支出割合の大きい農具修繕費の低減を図るよう、農業経営相談所の専門家の意見も踏まえて改善する。

## II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	収入の柱としているコメの売り上げ高がコロナ禍による消費需要の低迷を受け、買取価格の下落が続いているため。	消費市場の回復後も安定した収益を維持できるように、支出割合の大きい農具修繕費の低減を図るよう、利用計画の改善を農業経営相談所の専門家の意見も踏まえて指導していく。

## III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 中心経営体の中でも規模拡大志向農業者に農地の集約を進め、地域の農地全体の営農継続を図る。また、集約については中間管理事業を利用するなどする。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地域内の耕作面積の概ね6割が中心経営体の現耕作面積と今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積であるため、今後中心経営体等の担い手に農地の集積を図るとともに、効率的に営農していけるよう農地を集積・集約化させる必要がある。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 本地区及び他地区も含め、集落座談会等によりプランの見直し等を図る。</p> <p>4 未達成者への対応等について 引き続きフォローアップを実施し、次年度に目標が達成するように、地区関係者等と協力・助言等を図っていく。</p>
--

## 〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。